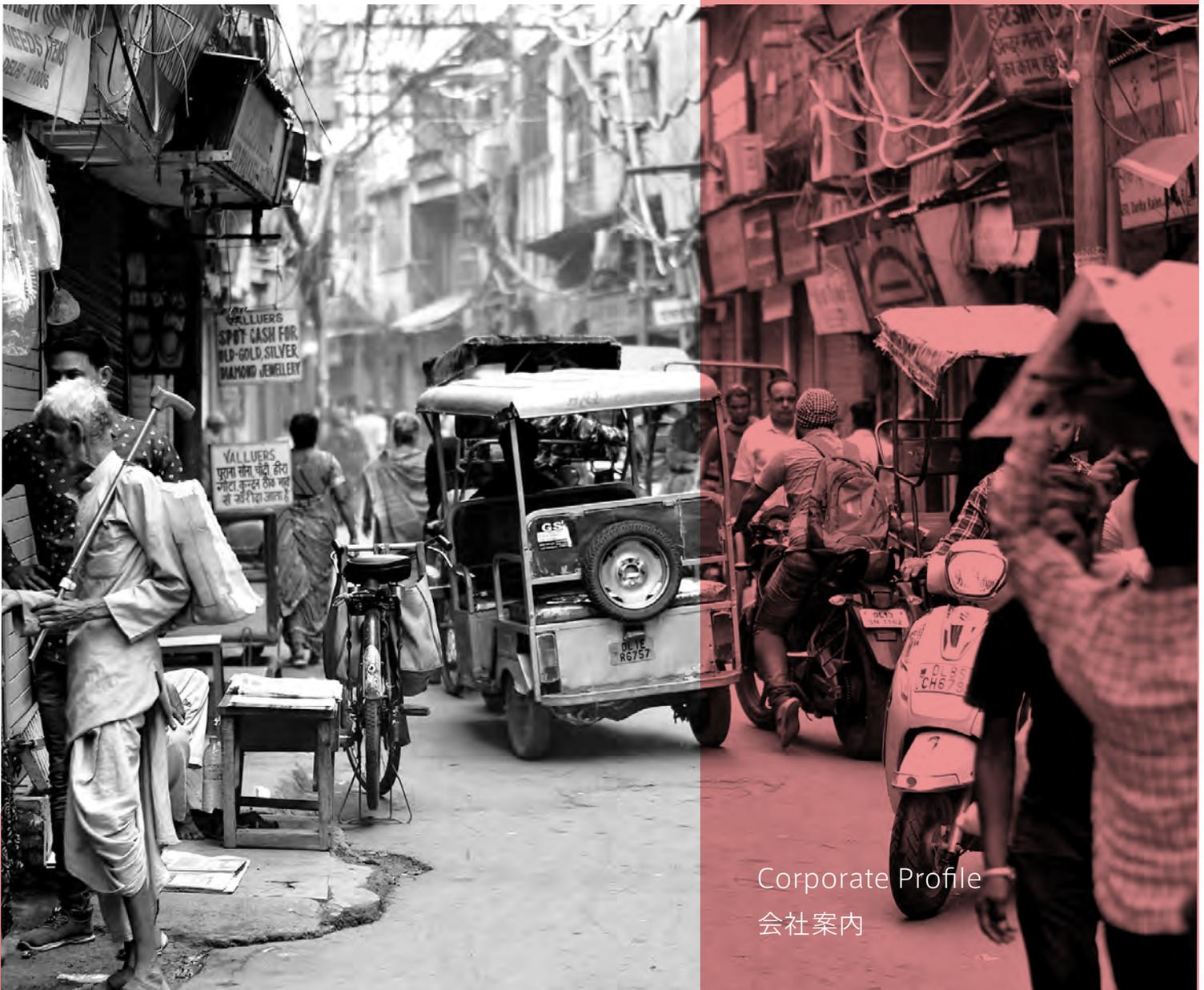


デザインで超えていく



そのビジネスは、
「ひと」を
忘れていないだろうか。



トリニティ株式会社は、1997年に設立されたデザインコンサルティング・ファームです。

私たちのミッションは、ビジネスの「構想から実現まで」を、デザインの力でグローバルに併走し、お客様と共に未来を創りあげていくこと——。イタリア・ドムスアカデミー（大学院大学 / ミラノ）との協働に始まった創業当時から、常に「広いデザイン概念」での活動を続けてまいりました。

「デザイン」には、人を幸せにする力がある。

これからのビジネスの拡大、そして社会の変革は、これまでの成長第一主義を切り替え、いかに「ひと」に寄り添い、良く生きるための新しい「意味」を創りだすことができるかにかかっています。

「理性の最後の行動は、理性を超えるものが無限に存在することを認めること」

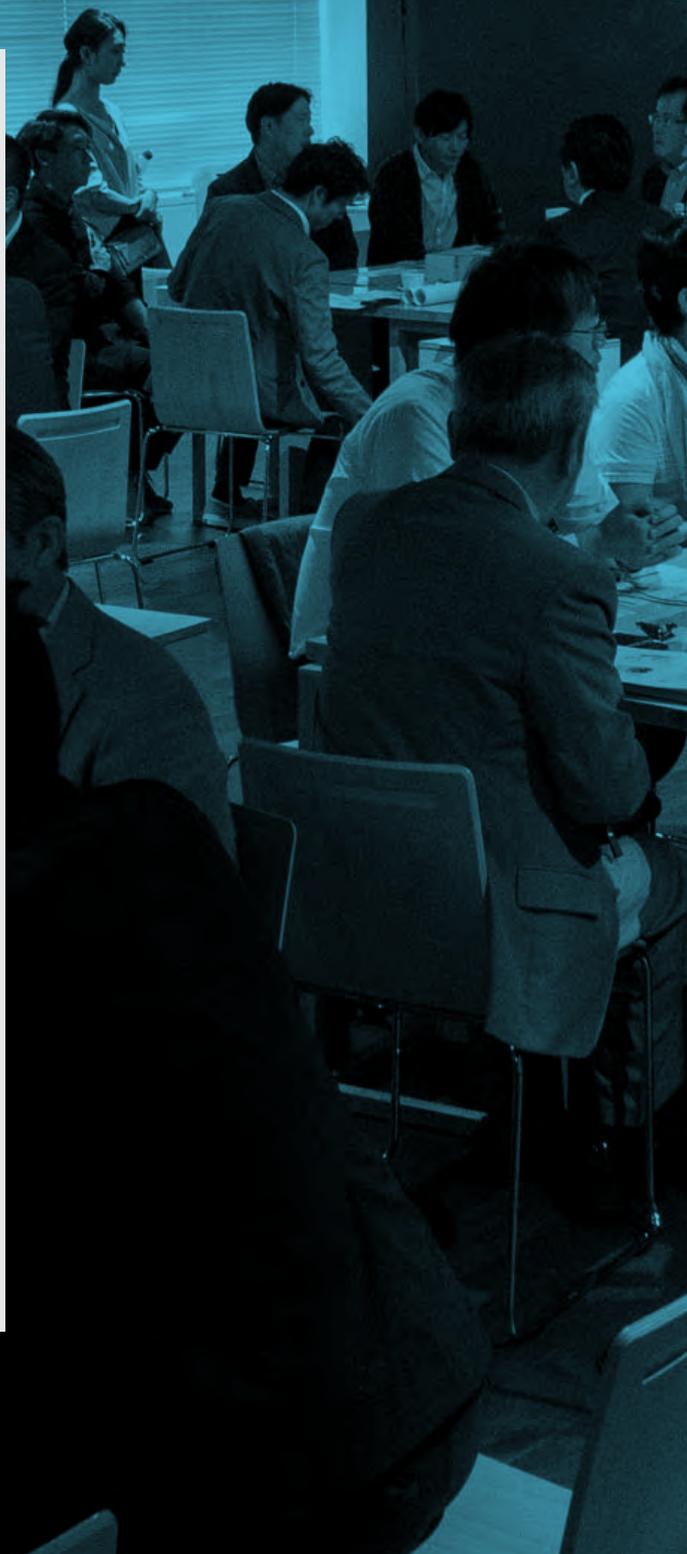
これは、数学・物理学の分野で数多くの功績を残したパスカルの言葉です。

私たちトリニティは、いかなる時にも「ひと」に視点を置き、理性だけでは未だ顕在化されていない「意味」や「感性」を引き出す独自の「デザインリサーチ」を起点に、クリエイティブに「正しい問い」をたて、次の一步を具体的に提示していきます。

これからの時代に大切なもののひとつが、Integrity。

私たちは、それを誠実さだけでなく、謙虚さそして情熱と心得て、これからも進んでまいります。

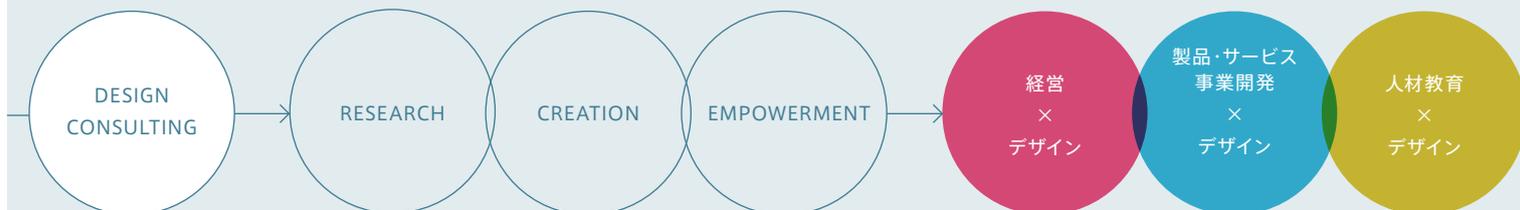
代表取締役社長 湯浅 保有美



Design Consulting

トリニティのデザインコンサルティングプロセスは、
事実をベースにした読み解きと、
ひとに寄り添うクリエイティブから総合的に構成。

企業が“デザイン体質”へと生まれ変わるための「人や場の育成」も支援します。



Research

社会構造や価値観における変化の潮流をとらえ、その先の未来を読み解く。

未来のイノベーションを生むために、そもそもの「問い・ 이슈」を従来の常識で設定せず、未来の市場を構成するひとの意識や行動を収集する、トリニティのデザインリサーチ。その背景にある文化や習慣に着目し、「変化の兆し」・「インサイト」を導きます。

Creation

インサイト抽出から、コンセプト&デザイン開発、ブランディングまでを実践。

デザイン思考ワークショップや、エクストリームユーザーや有識者を巻き込んだ協創から生みだされるアイデアを、プロダクト、サービス & UX/UI 等のプロトタイプ、先行開発モデルとして具現化。空想や妄想をリアルなカタチに変え生みだすまでをゴールと捉え、皆様と共に走り抜けます。

Empowerment

「デザイン思考」を企業に根付かせる。「創るひと」に変化をもたらす。

「デザイン思考」をベースとしたプロジェクトの進行は、関わる人材の成長・モチベーションにも大きな意味をもたらします。

一人ひとりの力を引き出すエンパワーメント視点で、自立的な企業の成長へとつなぎます。

「デザイン」とは未来を描きだすこと。

経済産業省・特許庁が発表した「『デザイン経営』宣言」(2018)でも言及されているように、いまや経営の場面でも「デザイン」の力が強く求められています。

企業として、従来の枠にとらわれない、「新しい価値」の創造を実現していくために。

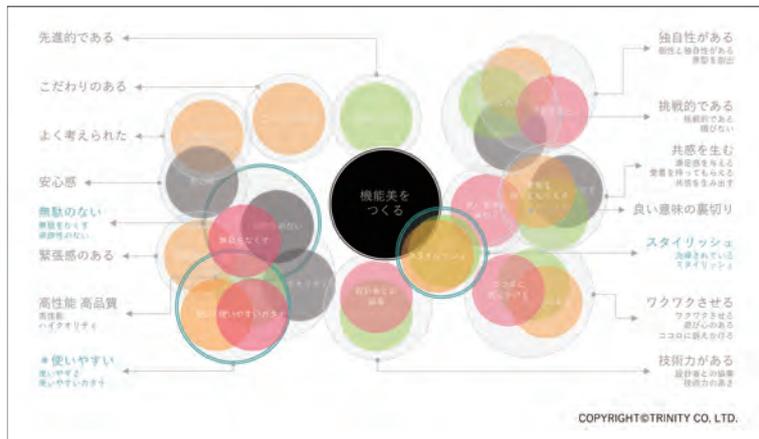
トリニティでは、「デザイン思考」をベースに、新規事業創造や、「デザイン経営」の導入支援など、幅広いニーズにお応えしています。

経営

×
デザイン

経営に寄与する「デザインフィロソフィ」策定プロジェクト

電気機器メーカー / 精密機器メーカーほか



デザイン部門の経営への寄与が求められるなか、デザイナーの意識改革とデザイン部門の新たな位置付けを社内外に浸透させることを目的として、デザイン部門のフィロソフィ策定プロジェクトをサポートしました。

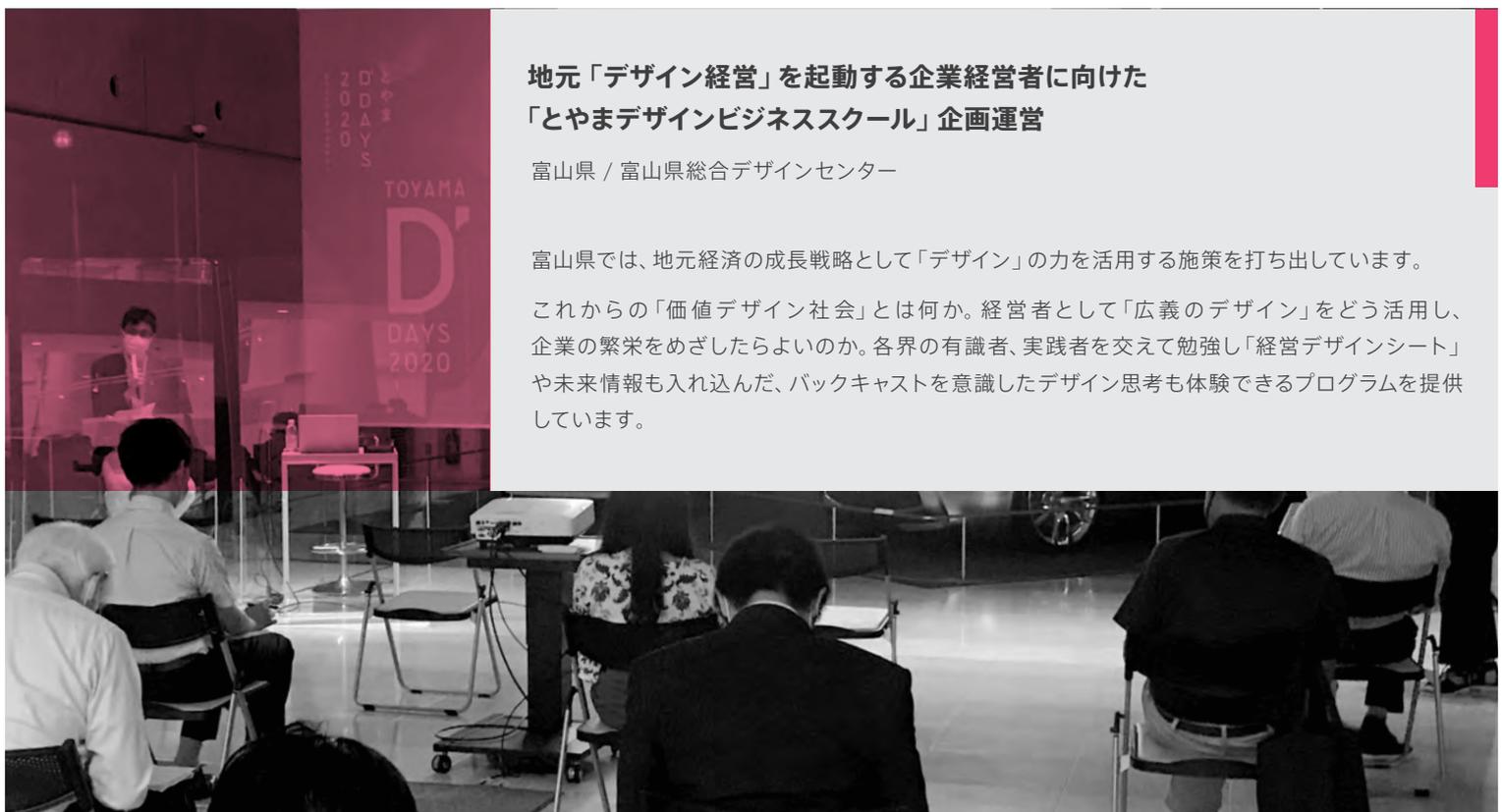
参加デザイナーの議論を活性化するファシリテーションや、ワーク過程でのトレンド・価値観などの情報提供&外部有識者の起用により潤滑油としての役割に比重を置くことで、デザイナー一人ひとりの自己内省と議論を徹底的に行うプロセスを重視。その結果、にじみ出てきた思い・熱意・思考をトリニティが汲み取り精緻化することで、自分事・チーム事としてドライブするフィロソフィに落とし込みました。

地元「デザイン経営」を起動する企業経営者に向けた「とやまデザインビジネススクール」企画運営

富山県 / 富山県総合デザインセンター

富山県では、地元経済の成長戦略として「デザイン」の力を活用する施策を打ち出しています。

これからの「価値デザイン社会」とは何か。経営者として「広義のデザイン」をどう活用し、企業の繁栄をめざしたらよいか。各界の有識者、実践者を交えて勉強し「経営デザインシート」や未来情報も入れ込んだ、バックキャストを意識したデザイン思考も体験できるプログラムを提供しています。



企業はこれまで培ってきた技術やノウハウの延長だけではなく、
新たな分野、新たな視点での製品・サービス開発、あるいは事業開発が求められます。

自社が提供すべき「新しい価値」は何か。
生活者自身も気づいていない価値とは何か。
インサイトをとらえ、よりよい社会へと貢献するモノづくりへ。

トリニティでは、コンサルティングという一場面にとどまらず、
ゴールまで伴走するパートナーとしてお選びいただいています。

製品・サービス 事業開発

×
デザイン

要素技術/モノづくり経験を起点とした 「新領域商品・サービスアイデア」創造プロジェクト

自動車関連メーカー



自動車業界以外での新領域における新価値創造をめざし、デザイン部門の精鋭メンバーと共に、
新規商品・サービスを創造。

マーケティングベースではなく、同社のオリジン / 強み / 蓄積された経験 / 個性等に関する
深掘 & 棚卸しから始め、「その特性がアドバンテージとなること」& 「大きな変革期にある
本業の未来にも貢献できること」を軸としてフォーカス領域や起点とする要素技術を選定。
それらを起点にデザイン思考やリーンスタートアップのエッセンスを入れ込んだワーク
ショップを何度も重ね、アウトプットを生み出していました。

モックアップを活用して有識者ヒアリング、展示会等へ出展し、事業性を精査しながら
市場へのローンチの準備が進められています。

海外向け次世代製品コンセプト開発

車両メーカー / 総合家電メーカーなど実績多数

エスノグラフィ、有識者調査、デスクリサーチ、オン
ラインアンケートなど、トリニティではデザイン
リサーチとマーケットリサーチの両面から多面的に
インサイトを探求。

20年来に渡りグローバル価値観やライフスタイル
動向を見続けてきたトリニティの視点を加えて
読み解くことにより、価値ある情報を届けます。

さらに、インサイトに根ざしたアイデア開発、
アイデアワークショップと現地の量的な検証を
2カ国協働で実施。現地の人々が求める価値を
コンセプトとして抽出します。

コンセプト開発シナリオ

クライアント企業への
ヒアリング

ユーザーインタビュー
有識者ヒアリング
トレンドリサーチ

企業の強み
個性の抽出

潜在ニーズの
抽出

訴求ポイントの抽出



フォーカスターゲットの
ペルソナ化



デザインコンセプト策定



デザインの言語化



コミュニケーション
コンセプト策定

どんなに変化が激しく、将来が見通しにくい環境でも「次」を生み出すのは、いつも「ひと」です。

変革と成長のキーとなる「デザイン思考」を、一過性のものでなく、DNAとして根付かせ企業力へとつなげていくために。

トリニティでは、業種や業態、企業風土などを理解した上で、有識者を交えたワークショップなど、実践的かつ体験型の「学び」の場の提供、サポートを行っています。

人材教育

×
デザイン

技術シーズ × デザイン思考を活用した 新規事業創出のための“実践型”教育

NEC 中央研究所 ※

生活者視点でプロダクトやサービスを考えていく「デザイン思考」は、特に研究職の方々にとっては、これまでの思考法と融合させにくい場面が多々あります。

トリニティでは、研究員の方々が持つ様々な技術 / 知見を起点に、デザイン思考を活用して、生活者視点をマージさせ、新規事業のアイデアを創造する“実践型”“融合型”の教育研修を6カ月に渡り実施しました。

研究員のチームに外部有識者やデザイナーを交え多様性ある「場」づくりをしながら、技術が生み出す価値の拡張 / ペルソナ設定 / フィールドワーク / ジャーニー作成などのプロセスを体験。デザイン思考を研修で終わらせず、研究者の方々の日々の業務に地続きで落とし込むことに貢献しました。

※現在: 研究・開発ユニット

「高度デザイン人材」の育成・活用をめざす実践型リカレントプログラム 高度ブリッジスクール powered by トリニティ

トリニティでは、これまで培ってきた「デザイン思考」や「デザイン経営」をベースに、高度デザイン人材に必要な実践型リカレント研修を行い、地方・中小企業での活躍推進をめざすプログラムを始動しました。

大手企業のインハウスデザイナー、デザイン組織所属の方を対象に、高度デザイン人材になる架け橋となるオンラインスクールを開設。その後希望する卒業生には、地方・中小企業で高度デザインプログラムを自ら実践するフィールドワークを用意。人生100年時代の新しい働き方、新しいデザイン人材のあり方を参加者とともに模索していきます。

※「令和元年度補正予算 大企業人材等の地方での活躍推進事業補助金」対象事業

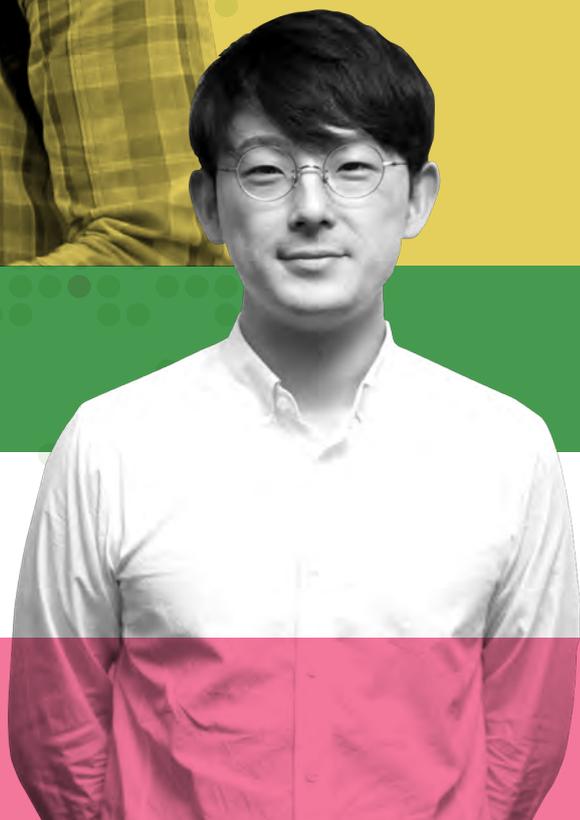
高度デザイン
ブリッジスクール
powered by トリニティ

経済産業省・中小企業庁「令和元年度補正予算
大企業人材等の地方での活躍推進事業補助金」対象事業

Experts

一人ひとりが複数の専門性と多様なバックグラウンドを持つ、
プロフェッショナル集団。

「ひと」への多彩かつ高度な視点力でプロジェクトをゴールまで推進します。



デザインプロデューサー

デザイン思考をはじめとする各種デザインツールや
プロセスを通して創造性を発揮し、新規事業・サービス
創出までをトータルでサポートします。

デザインリサーチャー / データアナリスト

デザインリサーチとマーケットリサーチのハイブリッド。
エスノグラフィ、デプスインタビュー、トレンドリサーチ
などの手法を用い、ひとを深く観察。
さらには統計のスキルでマーケットをリサーチし、量的な
検証も行います。双方を通じてインサイトを発掘します。

ファシリテーター / エデュケーションデザイナー

デザイン思考、経営デザイン、プロトタイピングなどの
ワークショップを実施。
チームビルディングや、教育の面からのサポートも行います。

Partners

国を超えて、専門領域を超えて。
「ひと」とのつながりが、新しい未来への足がかりとなる。
私たちの「ひと」への視点は、パートナーの幅広さにも現れています。

グローバル・パートナー

Italy

BEESTUDIO
CASTELLI DESIGN
FRAGILE
GIOVANNONI DESIGN
MADEINDREAMS
D'ARC.STUDIO
RICCARDO GIOVANETTI
DESIGN STUDIO
giulio iacchetti
Totally Unnecessary
Productions
Valerio Sommella
Design Studio
viapiranesi

France

matali crasset

Germany

code2design

Netherlands

T Magpie Design &
Design Management

Spain

STONE

U.K.

Keechdesign UK Ltd.
ustwo fampany ltd
Chris Lefteri Design Ltd HQ
Conran and Partners
Michael Sodeau Studio
PDD Group Ltd
tangerine

Finland

Ikada

U.S.A

Koz Susani Design

Brazil

DOMUS DESIGN
Ff.design.studio
QUESTONÓ
VRD Research SRL

China

AXIS Creation
International Co., Ltd
ORIENTAL DESIGN
creavivoo
Peopeo Humanized Digital
Technology (Beijing) Co., Ltd.
QINWEI DESIGN
RENNOVATE
YANG DESIGN

Korea

amoeba

India

THINK DESIGN

Thailand

FIF DESIGN studio

Vietnam

Stageof-art
Left Brain Connectors
Habataku Inc.

Indonesia

Indonesia Research Institute
Japan Co., Ltd.
Jie Design
Morning Communications
noote&netoo
RAUL RENANDA DESIGN
KAMARUPA DESIGN GROUP

Singapore

Acacia Design Consultants
NextOfKin Creatives
Orcadesign Consultants Pte Ltd
STUCK Design Pte Ltd

Japan

Asia Bridge Ltd.
EMC Healthcare Co., Ltd.
idealShip Ltd.
Surface&Architecture Inc.
CUUSOO SYSTEM Co., Ltd.
DESIGN & REALIZATIONS
RobiZy



イタリア デザイン大学院「Domus Academy」との協働から スタートしたグローバルネットワーク

トリニティのグローバルネットワークは、1990年代の創業時にマネジメントを担当した世界トップクラスのデザイン大学院である「ドムスアカデミー/Domus Academy」(イタリア・ミラノ)との協働関係に端を発します。

当時の欧州では、デザインを広い意味でとらえ、都市開発やブランディング、ユーザーエクスペリエンス、リサーチ、そしてビジネスの場面で人間中心のデザイン活動がなされていました。

トリニティでは、そこで培った彼らとの“顔の見える関係”をもとに、2000年代には欧米だけでなく、アジアやアフリカ、ブラジルなどの国々でのフィールドワークを重ね、現在のネットワークに至っています。

58パートナー拠点(アジア8カ国/欧州7カ国/南北アメリカ2カ国) 2020年5月現在

専門パートナー

UX・サービスデザイン

坂本 学氏
UXに立脚した事業開発、
商品開発の実績を重ねる

株式会社アローグラフ 代表
代表作にソニー PlayStation
ロゴデザイン等

空間・建築・都市デザイン

塩浦 政也氏
空間における人間の行動を通し
未来の景色を切り拓く

株式会社SCAPE 代表取締役
代表作に東京スカイツリータウン等

人材開発・まちづくり

須藤 順氏
専門分野: ソーシャルイノベーション/
起業家育成/コミュニティデザイン

高知大学地域協働学部 准教授
博士(経営経済学)/社会福祉士

ビジネスデザイン

平野 幸司氏
新しいビジネスモデルで
世の中の課題を解決する

株式会社idealShip 代表取締役

ソーシャル・コミュニティデザイン

蓮見 孝氏
未来の社会に向けたグランドデザインを
描き出し、伴走する

筑波大学・札幌市立大学 名誉教授

Produce

時代の流れをつかむだけでなく、自ら未来を「デザイン」していくために。
企業そして社会に向けて課題を提起し、場を提供していく。

私たちの活動の一部をご紹介します。

異業種コミュニティ

次の“移動”を創る「人・技術・知恵」をつなげる研究会

KITE (カイト)

多彩な視点で新しい「移動」を考え、ビジョンを共有する研究会。
個人の思考を拡張する場として、次のビジネスにつながる出会いの場をめざして運営しています。



現場の課題をデザインで解決していく研究会

ソーシャルケア・デザイン

介護・福祉・医療・子育てといったソーシャルケア分野において、複数の領域の専門性を持つ現場経験者とデザインリサーチャーがお互いの視点を活かし、課題解決につながるモノ・サービスを提案していきます。



企業内デザイナーによる異業種交流勉強会

トピックス

異業種の企業内のクリエイティブ人材が、領域横断で集い、組織の中でのバリューを高めるための知恵を出しあい、つながるための勉強コミュニティ。これまでのべ118社が参加しています。

自動車サプライヤーのための合同デザイン研修

SSD



SSDとは、スーパーサプライヤー by デザインアクティビティのこと。
変革の時を迎えた自動車業界に向け、若手社員の「デザイン」視点を強化するラーニングプログラムを推進しています。

プロジェクト



インハウスデザイナーの働き方をイノベーションに活かす

クリエイティビティのための働き方改革

「効率化」を求める働き方改革から、新しい価値を「創り出す」ための働き方改革へ。企業の内側からクリエイティビティを支えるデザイナーの顕在化された、或いは無意識の働き方からヒントをつかみ、新しいクリエイティブな働き方を提言しました。

注目される「リビングラボ」で生活者と共に次の知恵を生み出す

WellBeing 高齢者の移動 概念実証 (POC)

複数社の協創により、70歳前後のシニア世代に向けた、移動の商品・サービス開発を推進。その成果をリビングラボで検証し、対象となる生活者と一緒になってワークショップを展開。移動の未来を考えるプロトタイプの機会となりました。

定点レポート

人々の価値観の変化の先をグローバルに読み解く
価値観トレンドレポート

クロスオーバー・トレンド・フォーキャスト

ひとの価値観、それを表わす製品やサービス、デザイン表現の2年後の未来を示唆する資料です。

日米欧のリサーチャーが2000年度から着手して製作されたこのデータベースは、過去と未来の動向を確認し、次期マーケットの事業や製品の構想に活用するだけでなく、トレンド周期を見出して5年後、10年度の未来を描く際の手だてになります。毎年7月にマルチクライアント形式で発表。

デザインリサーチャーが追う、ひと視点の技術トレンド

テックオーバートレンドレポート

さまざまな領域のテクノロジーがどこに向かっているか、もたらす未来のライフスタイルは何かを読み解ける資料です。この資料をベースとした、複数社による読み解きワークショップも展開しています。

History

「デザイン」の持つ力を世界に学び、日本に広げ、そして再び世界へ。
ニーズをただ待つのではなく、未来視点で発想しいちはやく世の中へ提案していく。
私たちトリニティが見つめてきたさまざまな「きざし」は、いま、大きな広がりを見せています。

トリニティの歩み

1997 有限会社トレマーニとして創業 デザインコンサルテーションを開始

トムスアカデミーおよび同大学院大学のリサーチ機関の日本のパートナーとして、プロジェクトマネジメントを担う

欧米では、この当時より「デザインとは社会全体を考え、それを具現化すること」と捉えられていました。製品開発の中だけにデザインが機能するのではなく、企業や社会という仕組み全体が「デザイン」の対象であること。この考え方を日本で実現するため、「デザインリサーチ」「デザインコンサルテーション」という活動をいち早く開始しました。

1999 トレンド分析レポート開始

世界のデザインの最先端をクライアント企業のデザイン開発に活かすため、ミラノ・デザインウィーク展（最大級の家具・インテリアの国際見本市、通称ミラノ・サローネ）の「トレンド分析レポート」開始

2008 新興国 現地パートナー提携の拡張開始

新興国でのフィールドリサーチ強化のため、現地パートナーとの提携を拡張開始（インドでのジョイントベンチャーによる拠点開設はじめ、中国、シンガポール、タイ、ベトナム、ミャンマー、ブラジル 他）

先進国の経済成長の高止まりを見据え、リーマンショック前の2006年には次の「デザインマーケット」として、新興国に注目。現地でのデザインリサーチパートナーとの提携拡張を行う。

2010 組織内デザイナーの合同勉強会コミュニティ始動

デザイン部門における課題やデザイナーの在り方を問う場として、組織内デザイン部門（インハウスデザイナー）コミュニティ『トピックス』を約10社でスタート

企業の中だけでは、新しいものは生まれない——これまでの活動に、閉塞感や危機感を感じるなかで、「オープンイノベーション」の先駆けともいえる活動を開始。企業と企業を“つなぐ”場としての新しい役割を担い始めました。

2012 若手研修プログラム開始

「デザイン思考」をテーマとした若手研修プログラム「新興国ワークショップマラソン」を開始。年に一度、マルチクライアント形式で展開し、教育定番プログラムに（～現在に至る）

2016 福祉&介護アイデアソンを実施

「ひと」を見つめ続けてきたトリニティの新しい活動として、「ソーシャルケア・デザイン」研究会のサポートのもと、福祉&介護をテーマとしたアイデアソンを初開催

2020 公共の問題を解決する—行政への協力を開始

社会的で複雑な公共問題を解決するため、政策へのデザイン思考導入を福井県で実施
ほか 大企業人材等の地方での活躍推進事業 採択ノとやまデザインビジネススクール 開講

社会の変化

2018 経済産業省・特許庁
『「デザイン経営」宣言』発表

2005 ミラノ・デザインウィーク展
日本企業初出展

2000 新興国の成長率が先進国の
成長率を大幅に上回り始める

2013 世界のGDPに占める先進国のシェアが
初めて50%を下回る
内閣府『経済財政白書 世界経済の潮流 2014年』より

2017 文部科学省(MEXT)による
「オープンイノベーション共創会議」

2018 経済産業省「高度デザイン人材育成ガイドライン」
作成

2019 2019 Welfare 関連市場 16億円に拡大
(2025年までに46%伸びの見込み)

20XX ソーシャルエシックス(社会倫理)デザインへ
公正な社会の中で、ひとが尊厳を持って生きることの
実現に向けての動きが加速する



トリニティ株式会社

102-0094 千代田区紀尾井町3-29 NGA 紀尾井町ビル 6階

Tel : 03-5211-5150 / Fax : 03-5211-1520

info@trinitydesign.jp / trinitydesign.jp